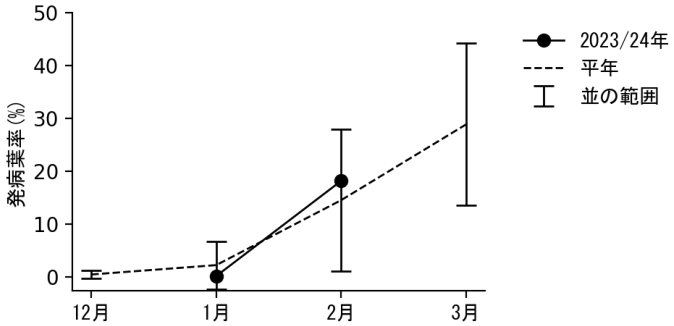
令和　5 年度　　3 月予報

作物	かぼちゃ		地域	沖縄群島
病害虫名	①　うどんこ病			
調査結果	2 月の発生量（平年比）	並		
予　報	2 月からの増減傾向	↗		
	3 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

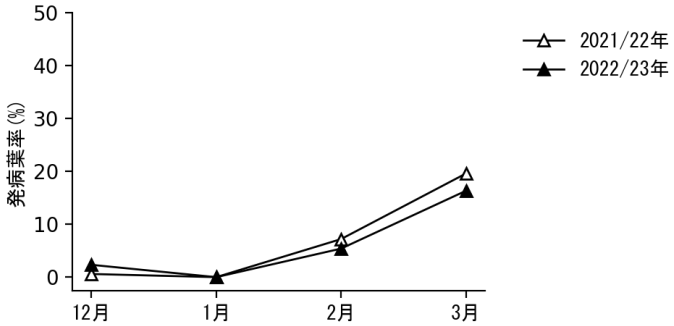
調査結果

発病葉率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生ほ場率40.0%（平年：47.5%）

防除のポイント

・乾燥時、多肥の時に発生が多く、着果期以降は草勢の低下に伴い被害が急激に広がる場合がある。
・多発すると防除が難しくなるので発病初期からの防除を徹底する。
・発生源となる老葉や不要な下葉を除去し、透光通風を良くする。
・窒素質肥料の多用を避け、予防散布を行う。
・薬剤耐性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

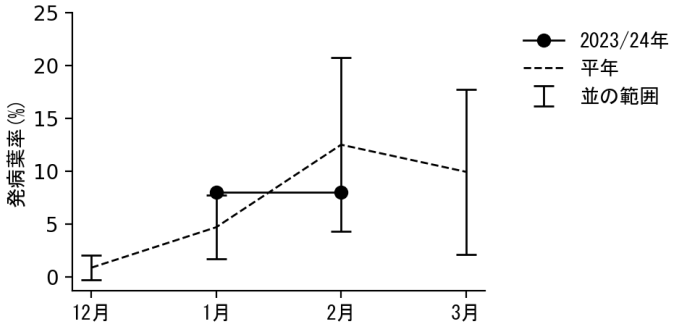
令和　5 年度　　3 月予報

作物	かぼちゃ		地域	沖縄群島
病害虫名	② 斑点・褐斑細菌病			
調査結果	2 月の発生量（平年比）	並		
予報	2 月からの増減傾向	↘		
	3 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）		

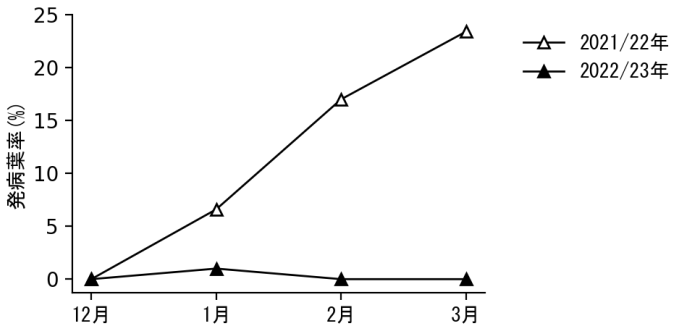
調査結果

発病葉率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生ほ場率100%（平年：56.0%）

防除のポイント

・強風による葉ずれ等の傷口から感染するため、防風垣（防風ネット等）を設置する。

・降雨や強風などの気象条件が続くと急激に広がる場合があるので、強風降雨の後は薬剤散布を行う。

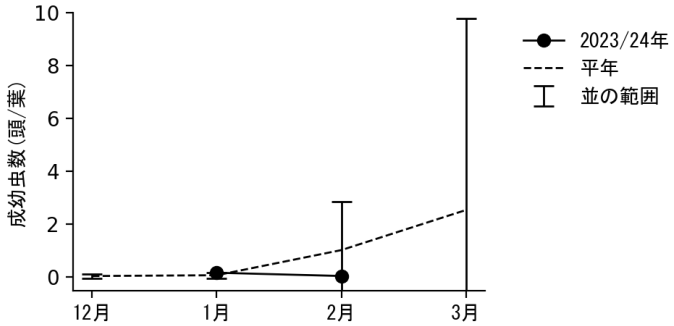
令和　5 年度　　3 月予報

作物	かぼちゃ		地域	沖縄群島
病害虫名	③　アブラムシ類		有翅虫	
調査結果	2 月の発生量（平年比）	並		
予報	2 月からの増減傾向	↗		
	3 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

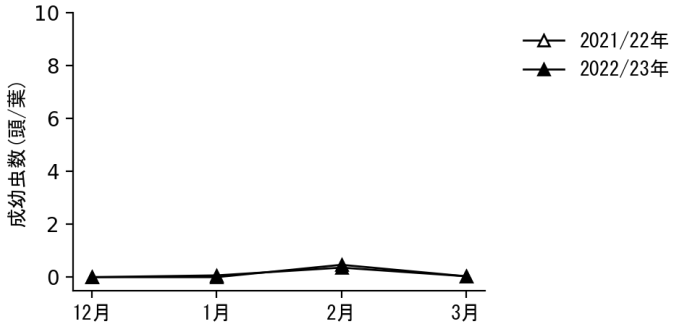
調査結果

成幼虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生ほ場率60.0%（平年：80.0%）

防除のポイント

・アブラムシ類はズッキーニ黄斑モザイクウイルスやパパイヤ輪点ウイルス等を媒介する。
・多くの雑草が発生源となりうるので、ほ場周辺の雑草除去に務める。
・ほ場周辺に防風対策を兼ねた防虫ネットやソルゴー等を設置し、有翅虫の飛来侵入を防ぐ。
・葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。

無翅虫

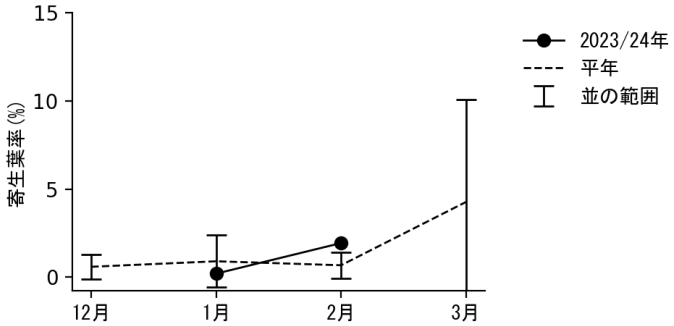
令和　5 年度　　3 月予報

作物	かぼちゃ		地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハモグリバエ類			
調査結果	2 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	2 月からの増減傾向	↗		
	3 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

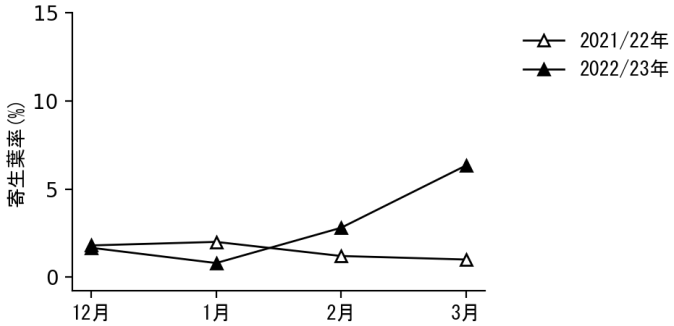
調査結果

寄生葉率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生ほ場率60.0%（平年：25.0%）

防除のポイント

・多発すると防除が困難になること、また寄生痕からうどんこ病や細菌性病害が侵入する場合があることから、発生初期の防除を徹底する。

・発生源となりうるほ場周辺の雑草除去に務める。

・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。

・防除効果は幼虫の体色で判断する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

幼虫の死骸
（農薬などで死亡すると黒色に変色）